



吉備国際大学・吉備国際大学短期大学部・
順正高等看護専門学校 オープンキャンパス

今年度もオープンキャンパスが盛大に行われ、残すところあと1回となりました。毎回、遠方より大勢の皆さんにご参加いただき、本学園そして高梁市の魅力を十分に感じていただけたのではないかと思います。

高校生の皆さんにとっては、将来を決める大事な選択になるかと思えます。オープンキャンパスへ参加して学生生活の一端を体感してみてください。



また、学科等の内容や入試についての相談、将来の就職に関すること、さまざまな疑問を解決してください。

社会人の進学希望者はもちろんのこと、高梁に住んでいても大学に足を運んだことが無いという皆さんも、ぜひご参加ください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。



オープンキャンパス

開催日時

10/9(土) 13:00～16:00

※短期大学部保健科の美容デザイン専攻・メディカルビューティー専攻の開催は、同日程により岡山駅前キャンパス(岡山市北区岩田町2-5)で実施します。詳しくはお問い合わせください。

23年度から吉備国際大学の学部学科を再編します

- 社会学部(国際社会学科・ビジネスコミュニケーション学科・スポーツ社会学科)
- 保健医療福祉学部(看護学科・理学療法学科・作業療法学科・社会福祉学科)
- 国際環境経営学部(環境経営学科)
- 心理学部(心理学科・子ども発達教育学科)
- 文化財学部(文化財修復国際協力学科・アニメーション文化学科)

問い合わせ 順正学園入試広報室 (☎@7178)

地名を歩く

七十 建丁



荒神社と以前の「建丁」



荒神社通り 通りの向こうは鍛冶町

近世の松山城下町時代に「建丁」と呼ばれていた町がありました。それは、柿木丁(現城見通り)と西の鍛冶町の間に平行して南北に通る細い堅町通りの一つでした。「建丁」は、正善寺の南から東西に通る横町の「荒神丁」の通りと荒神社のある場所が交わっていました。「建丁」も「荒神丁」(拙稿「地名さんぽ」「荒神町」参照)と同じく、池田氏の頃(一六一七〜四一)に取り立てられたといわれる城下町時代の家中屋敷町の一つで、後になって石川総慶が正徳元年(一七一)頃、山城国の淀から入封して下級武士の居住地にしたものです。藩主の水谷氏時代の「建丁」は「荒神町」に交わる町だったために「荒神町横町」と呼ばれていたようで、元禄七年(一六九四)正月改めとして「水谷史」(「御家内之記」(市図書館)に「荒神町横町一丁二十九間・家数五十一軒(一)一軒給人(地方知行をあたえられた者)」と記録されています。

また、石川氏時代の「松山城下絵図」(市図書館)には、町の西側に六、東側に二と明屋敷二が書かれています。また、延享元年(一七四四)の「松山家中屋敷覚」(市図書館)には、「建丁」のことを「中小姓町」(主君に近侍として雑用をつとめた武士の町)と書いて、家中屋敷七、給人屋敷一をあげています。その後、板倉氏入国後「建丁」と町名が変更されています。嘉永二・三年頃(一八四九〜五〇頃)より安政初年頃(一八五四頃)の「昔夢一班」には、五軒の世帯があったことが書かれています。その後、明治初年頃(一八六八頃)に「建丁」は「荒神町」の一部となり、「建丁」の町名はなくなつて「荒神町」となっています。

「荒神町」は柿木町の南結(間之町北結)から西の鍛冶町へ通じる東西の町通り(小路)で、江戸時代から備中松山城下町の町割りの一つ、下家中屋敷町でした。「水谷史」(「御家内之記」)によると、「元禄七年正月戊戌改め」の中に「長さ四八間五尺、家数五軒、東に三軒」と書かれ、また石川時代の「松山城下絵図」(市図書館)には、柿木丁(現城見通り)に接する東側の角に同心長屋(のち同心丁に移る)が、町筋の北側に寺院や荒神社が描かれ、家数も元禄頃と同じになっています。後の延享元年の「松山家中屋敷覚」には、荒神町の家中屋敷も増えて一三軒、給人屋敷一軒、また、幕末の「昔夢一班」には、北側に三軒と南側に八軒の家中屋敷があり、荒神社も記録されていて、堅町型の「建丁」に比べて横町型の武家町になっていて、武家屋敷も多かったことが分かり、町筋にも当時の面影が残っています。今の荒神社は天保一〇年(一八三九)の大火で焼けた直後に再建されたらしく、天保一〇年の棟札が残っています。

現在では「建丁」の町の面影もすれ、「荒神町」の地名が残るのみになって、近世の「建丁」は消えた町の一つになったのです。(文・松前俊洋さん)

編集後記

トロイ市との国際交流を取材しました。トロイ市での1週間のホームステイを経験した生徒たちは、「もっと英語を勉強して、将来通訳になりたい」「もう一度、トロイ市に行って、ホストファミリーに会いたい」など、新たな「夢と目標」を持つようです。「ドリーム・ベースボール」でも600人を超す少年少女たちが、往年の名プロ

野球選手から、指導を仰ぎました。ある選手が指導しながら言いました。「努力すれば、夢はきつとかなう」と。そのときの少年少女たちの真剣でキラキラとしたまなざしが忘れられません。私ごとですが、夢を追わなくなつて20年以上たつてしまいました。一度、気持ちをリセットし、何か目標を見つけ、頑張つてみたいと思います。(K・H)

まちの伝言板

カラオケ大会&フリーマーケット



NPO法人夢風車うかん事務局 藤井 きぬへさん

「ウカン・ザ・フェスティバル2010」恒例の秋のイベントの紹介です。10月10日(日)うかん常山公園でカラオケ大会とフリーマーケットを開催します。「気持ちのいい秋空のもと、イベントに参加し、参加者の皆さんと楽しく交流してみませんか」と藤井さん。

- ◎カラオケ大会
 - ▽開始時間：午前9時30分(受付・午前8時30分)
 - ▽募集：定員24組(申込先着順・定員になり次第締切)。グループでの参加も可。性別・年齢は問いません
 - ◎フリーマーケット
 - ▽時間：午前9時〜午後3時
 - ▽出店料：500円
 - ▽出店申込締切：9月24日(金)
- ※申し込みはどちらのイベントとも、所定の申込用紙でお願います。
- 問い合わせ・申し込み
NPO法人夢風車うかん事務局 (☎・FAX) 573308